

# 兵庫医科大学 ワクチンポリシー

## <ワクチンポリシー制定の趣旨>

### ・医学的視点

ワクチン（予防接種）は、弱毒化・無毒化した病原体を接種することで、あらかじめ身体に免疫をつけて感染を予防するものです。特に医療機関で実習する医療系学生は、一般の方より感染症に罹患するリスクを有します。もしも感染した場合、自身の健康を損なうだけでなく、抵抗力の弱い患者さんへの感染、実習施設での院内感染、学内感染を引き起こす危険性もあります。これらのリスクを軽減するために、医療系学生にとってワクチン接種は必要な予防手段です。

### ・医療系学生としての教育的視点

ワクチンには、被接種者が感染症から守られるだけでなく、多くの人が接種を受けることで、「接種を受けられない人たちを守る」という集団免疫効果もあります。すなわちワクチン接種は医療系学生が持つべき「利他性」の教育の一環でもあります。さらに被接種者体験は、インフォームドコンセントと良好なコミュニケーションの重要性を経験する貴重な教育機会であります。

### ・ワクチン接種が困難な学生への配慮

ワクチン接種では、重篤な副反応を起こすケースがごく稀にあります。そのような「医学的に考慮される理由」のある場合は、本学が認める範囲内で修学上の配慮を行います。

この趣旨に基づいて、本学におけるワクチンポリシーを下記のように制定します。

## 1. ワクチン接種の義務化

入学や実習開始前に、学生はワクチン接種を受けることが義務付けられます。これには、一般的な予防接種や、本学や実習施設が指定する特定の感染症に対するワクチンが含まれます。

本学は、指定する抗体検査等の受検とワクチン接種証明書の提出を学生に求め、学生のワクチン接種状況を確認します。学生はワクチン接種の状況を定期的に報告し、必要に応じて追加のワクチン接種を受けることが求められます。

## 2. ワクチン未接種者への対応

本学は、ワクチン未接種の学生に対して、ワクチン接種を促す啓発活動や情報提供を行います。

ただし、「医学的に考慮される理由」があり、接種ができない場合においては、不利益を被ることはありません。

## 3. ワクチン関連情報の提供

本学は学生に対し、ワクチンに関する正確で信頼性のある情報を提供します。これには、ワクチンの効果や副作用、接種スケジュールなどが含まれます。また社会において、特定の感染症のリスクが高まる場合には、追加の感染対策や実習等の活動に制限が課されることがあります。

#### 4. ポリシー違反への対処

正当な理由なく、ワクチンポリシーに違反した場合、学生には適切な措置が取られます。これには、本学内での活動制限、実習の一時停止、又はより重い処分が含まれる場合があります。

制定

2023年10月10日